

Epochal

VOL.36
2022 SPRING

**創造的復興の先、
世界とつながる
熊本へ**
～持続可能な「新しいくまもと」の創造～

九州セントラルゲートウェイへ 阿蘇くまもと空港

UXプロジェクト — 7つの取組み

整備が進む地方創生への道

九州熊本から世界へ 陸・海・空の玄関口

熊本の強みを生かした「5つの安全保障」
—経済、感染症、災害、食料、地球環境

2050年ゼロカーボンを宣言—地球環境の安全保障

半導体関連企業の集積
—熊本から日本の経済安全保障の一翼を担う

“くまモンランド化構想”始まるモン!

ONE PIECE熊本復興プロジェクト

くまもと立地環境のご案内



熊本で働く人がいきいきと輝く! それが「ブライト企業」

熊本県では、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライト企業」として認定。その優れた取組みを広く周知することにより、県全体の労働環境や待遇の向上を図るとともに、若者の県内就職を促進する。認定されると、メディア等で認定企業として周知され、「ブライト企業限定」イベントや学校進路指導教員との情報交換会に参加できる。

認定を受けた事業所は、ブライト企業シンボルマークを社員用の名刺等に表示することができる。

- 従業員とその家族の満足度が高い ○地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い ○安定した経営を行っている

熊本の誘致企業発掘サイト



ハタラクト

熊本県内の若者や保護者らを対象に、熊本県の誘致企業を身近に感じてもらい、誘致企業で働く魅力を発信するウェブサイト。学校のキャリア教育とも連携し、誘致企業の認知度向上に貢献している。

64
事業所
掲載中

詳しくはコチラをご覧ください



分譲中の工業団地一覧

| 工 業 団 地 名 | 所在地 | 工業用地面積 (ha) | 分譲可能面積 (ha) | 分譲区画数 | 分譲単価 (円/㎡) |
|---------------|-------|-------------|-------------|-------|------------|
| ①くまもと臨空テクノパーク | 益城町 | 22.0 | 12.1 | 1 | 15,000 |
| ②名石浜工業用地 | 長洲町 | 101.6 | 6.1 | 2 | 11,200 |
| ③城南工業団地 | 熊本市 | 30.7 | 6.1 | 1 | 10,900 |
| ④津奈木工業団地 | 津奈木町 | 20.6 | 5.2 | 1 | 10,600 |
| ⑤西の迫工業団地 | あさぎり町 | 0.8 | 0.8 | 1 | 2,500 |
| ⑥人吉中核工業用地 | 人吉市 | 5.0 | 5.0 | 1 | 応相談 |
| ⑦錦町一武工業用地 | 錦町 | 5.1 | 1.5 | 1 | 1,000 |

**主要ポイントへの
交通アクセスも良好**



←詳しくはこちらをチェック



熊本県企業立地課

〒862-8570 熊本県中央区水前寺6丁目18-1
Tel 096-383-1111 (代表)
Tel 096-333-2330 (直通)
Fax 096-385-5797
Mail kigyouricchika@pref.kumamoto.lg.jp

■企業立地ガイド KUMAMOTO
<http://www.kumamoto-investment.jp>

熊本県東京事務所

【くまもとビジネス推進課】
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目3-16 (銀座熊本館3F)
Tel 03-3572-5022
Fax 03-3574-6714
Mail toukyoujimuso@pref.kumamoto.lg.jp

QRコード

熊本県大阪事務所

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1-3-2100
(大阪駅前第3ビル21F)
Tel 06-6344-3883
Fax 06-6344-3807
Mail oosakajimu@pref.kumamoto.lg.jp

■熊本県企業誘致連絡協議会【エポカル】
<http://e-kbda.jp>

創造的復興の先、世界とつながる 熊本へ ～持続可能な「新しいくまもと」の創造～

震災、豪雨、新型コロナウイルスと続く「3つの困難」に立ち向かう熊本県。

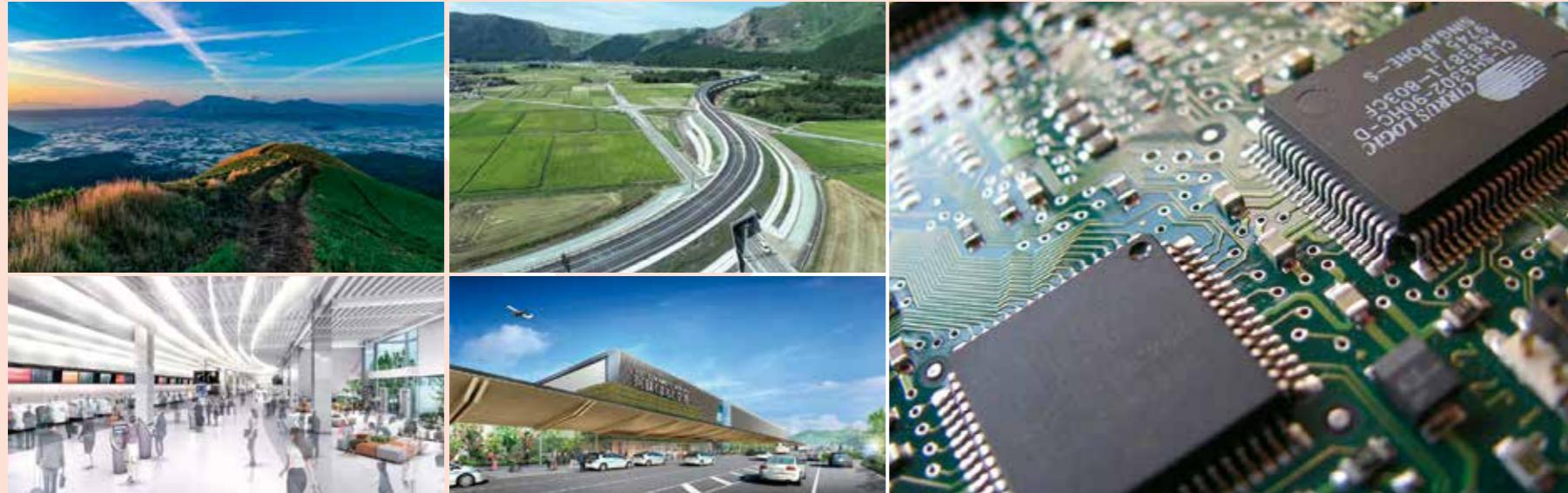
熊本では今、元あった姿より良い形で復興する「創造的復興」が全容を現わしつつあり、

将来に向けた地方創生戦略を着実に進めている。

それは熊本が持つ強みを生かし、日本の「5つの安全保障」に貢献するという将来像だ。

熊本が有する様々なポテンシャルを最大限に生かすことで、

50年後、100年後にも輝き続け、世界とつながる熊本の発展につなげていく。



Epochal VOL.36 2022 SPRING

熊本県企業誘致連絡協議会会報【エポカル】



CONTENTS

- 04 世界と地域にひらかれた
九州セントラルゲートウェイへ
UXプロジェクト—7つの取組み
Taiwan
- 06 整備が進む地方創生への道
中九州横断道路、九州中央自動車道、菊陽空港線延伸
- 08 アジアの玄関口、九州熊本から世界へ
創造的復興で陸・海・空の玄関口の整備進む
- 10 熊本の強みを生かした「5つの安全保障」
一経済、感染症、災害、食料、地球環境
2050年ゼロカーボンを宣言—地球環境の安全保障
- 12 半導体関連企業の集積
一経済の安全保障
熊本から日本の経済安全保障の一翼を担う
- 14 “くまモンランド化構想”始まるモン！
ONE PIECE熊本復興プロジェクト
- くまもと立地環境のご案内
- 16 補助金 人材確保サポート 特色ある誘致活動
- 18 豊富な水資源・温泉王国・熊本
ゴルフ場・観光スポットが充実
- 20 NEW FACE (株)湖池屋 (株)エヴォルト
- 22 令和3年度 事業紹介

ライフサイエンスの強みを活かした熊本産業の「第3の柱」の創出

※第1の柱「半導体関連産業」 第2の柱「自動車関連産業」

自分らしく最期まで「健康で」「楽しく」「美しく」
UXプロジェクトでは、そんな生活を実現するための
新たなビジネスを、ここ熊本から生み出すことを目指し、
共に一步を踏み出す仲間を求めています。

UX Project

7つの取組み

変革する阿蘇くまもと空港
周辺地域で「知の集積」に取り組みます



初の対外イベントを開催



2021年10月25日にキックオフイベントを開催。会場では企業等がPRブースを出し、約300人の来場者で賑わった。



モデル事業6件を採択

UXプロジェクトで今後実施する様々な取組のモデル事業「パイロットプロジェクト」で公募を実施し6件を採択。健康に関する様々なアイデアを基に新ビジネス創出を目指し、モニターを募った情報収集が行われている。また、1月には「農家起点」でのプロジェクト案の創出を目指す発表会イベントUX Farmer's Pitchも実施された。

Pick up!

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイへ

2023年春

阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル完成!



滞在型ゲートラウンジ



滑走路側から見た新旅客ターミナルビル



ONE PIECE 熊本復興プロジェクトの一環で「麦わらの一味」巨大パネルが登場!

©尾田栄一郎／集英社



国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル完成予想図

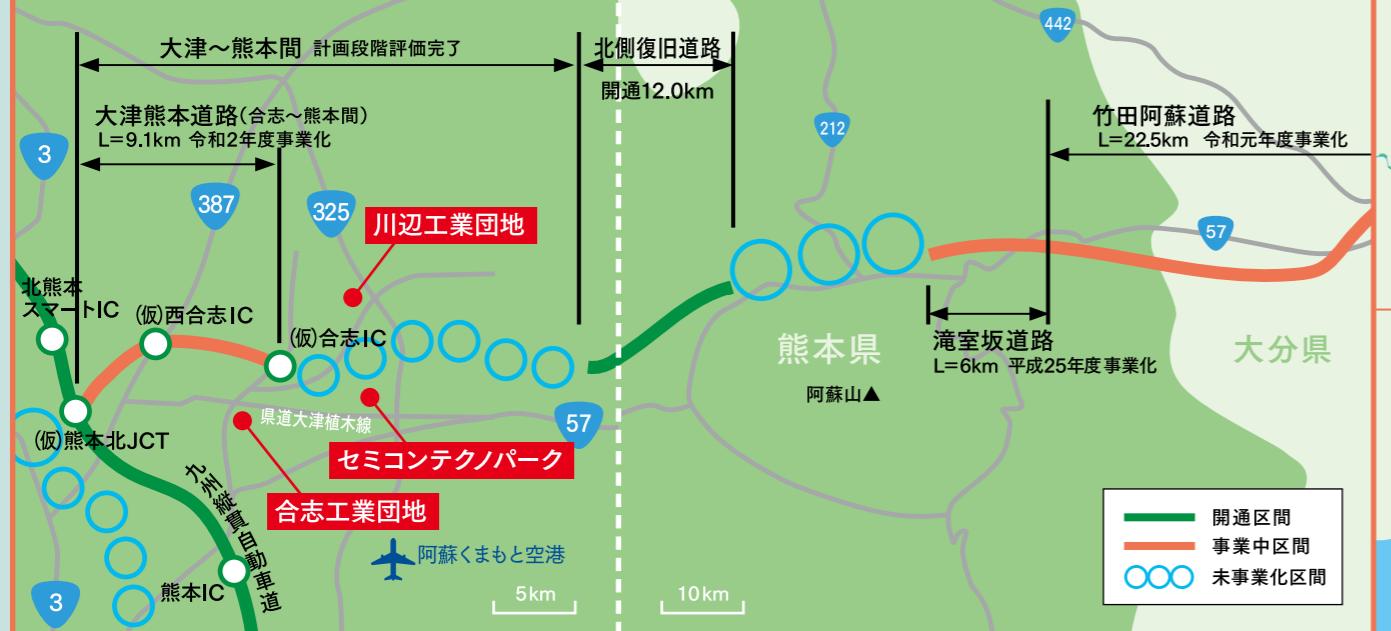
熊本地震からの創造的復興のシンボルとして、新たな旅客ターミナルビルの建設が進んでいる。開業は2023年春を予定。国内線・国際線が一体化する新ビルは、これまでの国内線・国際線を合わせた規模と比較して約1.4倍に拡大する。また、保安検査後の商業店舗面積を約45倍に拡大。この国内・国際共用の「滞在型ゲートラウンジ」にて、搭乗直前まで時間を気にせず買い物など快適な時間を過ごせるようになる。さらに国際線は免税店舗の面積が約10倍となり、利便性が向上する。

新型コロナウイルスの感染拡大対策として、PFM(旅客動線管理)システムの活用による利用者の混雑状況把握や抗菌フィルター採用による換気設備の機能向上を図る。具体的には、PFMシステムのカメラによって利用者の混雑状況を把握し、その混雑状況を利用者が見やすい場所に設置されたモニターで可視化することで、密状態を回避。換気設備については、機器内に抗菌仕様のフィルターを内蔵することで、ビル内の循環する空気内にいるウイルスを低減させる。

熊本国際空港㈱では2051年度の目標値として、国際線を4路線から17路線に拡充し、国際線旅客数を民間委託前の10倍超に当たる175万人、国内線旅客数は447万人(ピーク時の2018年度実績約320万人)を掲げる。

大分一熊本間を結ぶ高規格道路 中九州横断道路

大分一熊本間を結ぶ路線として整備が進められている中九州横断道路。大分市から阿蘇市、大津町、合志市を経由し熊本市へ至る総延長約120kmの高規格道路。県内では「竹田阿蘇道路」「滝室坂道路」「大津熊本道路(合志～熊本)」で事業が進んでいる。開通することで九州縦貫自動車道や大分方面へのアクセスの利便性が向上するほか、沿線には大型工業団地が立地しており、渋滞リスクの軽減や新たな企業誘致、災害時の緊急輸送ルートとしても期待されている。



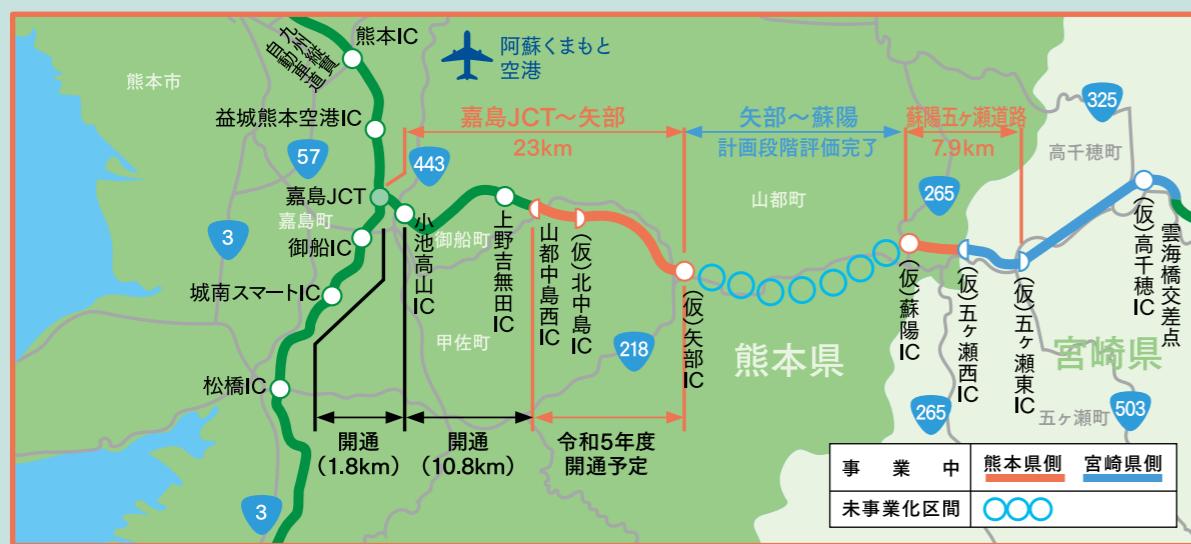
空港一工業団地の菊陽空港線延伸

セミコンテクノパーク周辺の渋滞緩和や空港アクセス向上を図るために、菊陽町から南北へ走る菊陽空港線の延伸計画が進んでいる。JR豊肥本線と県道熊本菊陽線(旧国道57号)をまたぎ、北側へ約1.3km延伸。開通すれば空港一工業団地間の交通利便性向上につながる。



延岡一熊本間 九州中央部を東西に結ぶ 九州中央自動車道

九州中央部を東西に結び、九州の高速道路網の骨格をなす重要路線の九州中央自動車道。産業、経済、文化の交流・発展を支える基盤となる。九州の中央に位置するという地理的特性を生かし、「すべての道は熊本に通じる」との考え方のもと、災害に対応する「命の道」、九州全体の産業を活性化させる「経済の道」、「地方創生の道」として大きな役割を担う。全体延長約95km(嘉島町～宮崎県延岡市)のうち県内延長は約44km。



整備が進む地方創生への“道”



これから
開通予定の道路
スケジュール

2022年度開通

- 国道3号「熊本北バイパス(4車線化)」(北区四方寄町一合志市須屋 延長1.8km)
- 国道3号「植木バイパス(2車線)」(北区四方寄町 延長0.9km)
- 熊本天草幹線道路「本渡道路」(天草市港町一同市志柿町 延長1.3km)
- 九州中央自動車道「山都中島西～(仮)矢部」(山都町 延長10.4km)

事業中

- 熊本西環状道路(南区砂原町一北区下硯川町 約12km)
- 南九州西回り自動車道(八代市一鹿児島市 約140km)
- 熊本天草幹線道路「本渡道路」(天草市港町一同市志柿町 延長1.3km)
- 熊本天草幹線道路(旧本渡市一熊本市近見町 約70km)



新幹線

博多まで最速33分
新大阪まで最速2時間58分



飛行機

| | |
|----------|--------------------|
| 羽田一熊本 | 90分 |
| 成田一熊本 | 100分 |
| 静岡一熊本 | 100分 NEW! |
| 中部一熊本 | 75分 |
| 小牧一熊本 | 80分 |
| 伊丹一熊本 | 65分 |
| 関西一熊本 | 70分 |
| 沖縄一熊本 | 90分 |
| 伊丹一熊本一天草 | 155分 (トランジット含む) |
| 福岡一天草 | 40分 |

※2022年3月現在は、新型コロナウイルス
感染症の影響により熊本一関西国際空港と
国際線は運休中



船

| | |
|-------|----|
| 釜山一熊本 | 3日 |
| 釜山一八代 | 1日 |
| 台湾一八代 | 3日 |



アジアの玄関口、九州熊本から世界へ

交通要衝地として、九州の中心に位置する熊本県には生産、物流、営業の拠点として多くの企業が進出している。
創造的復興による阿蘇くまもと空港などの整備が進み、
韓国・台湾・中国などの主要都市を中心に、“アジアの玄関口”として、熊本の拠点性がさらに高まっている。

利便性がさらに向上 国際物流拠点 熊本港・八代港

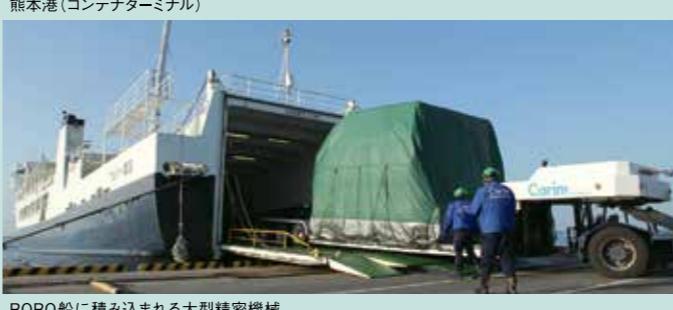
熊本港と八代港は、韓国や台湾との間に定期コンテナ船を運航。両国を経由して、
アジアはもとより北米やヨーロッパなど世界中の貨物の輸出入が可能となっている。

熊本港 Topic

熊本港には貨物を積載した車両が直接乗り込める「RORO船」の入港が年々
増加。コンテナ船に加えて新たな海上物流チャネルとして輸送の選択肢が
広がっている。また、2基目のガントリークレーンが導入される予定であり、
熊本都市圏の物流を支える港としてさらなる機能充実が進められている。

熊本港国際コンテナ定期航路 熊本港 ⇄ 釜山港

月8便



八代港 Topic

八代港では、2021年1月に県内初となる台湾航路が就航。また、2022年7月
には、コンテナヤード内にCFS倉庫の供用開始が予定されている。さらに、日本の
港で最初となるコンテナ流出防止柵を設置し高潮リスク低減にも取り組む
など、南九州の物流拠点として港湾機能の充実が着々と図られている。

八代港国際コンテナ定期航路 八代港 ⇄ 釜山港、八代港 ⇄ 台湾各港(基隆、台中、高雄)

月14便



Environmental security | 地球環境の安全保障



2050年ゼロカーボンを宣言

蒲島郁夫知事は2019年12月に「2050年県内CO₂排出実質ゼロ（ゼロカーボン）を目指すことを宣言。この実現に向けては、県民、事業者、各種団体、行政機関等、あらゆる主体が環境負荷の低減に向けて、それぞれの立場に応じた役割を發揮し、協働で取り組むことが必要。

Pick up!

第5回（令和3年度）受賞者
YKK AP株式会社 九州製造所



従業員の提案によるソフト・ハード両面による省エネルギー対策を積極的に推進し、2020年度は2013年度比で約40%の温室効果ガス排出削減を達成している。さらに、YKK AP株式会社はSBT（※）の認定を取得し、パリ協定に整合した2030年度の目標（グループ全体で2013年度比△50%）を設定し、温室効果ガス削減のさらなる取組みを推進している。

（※）企業が設定する温室効果ガス排出削減目標について、パリ協定の求める水準と整合していることを国際的な機関（国連グローバル・コンパクト（UNGC）等）が認定する取組み。

温室効果ガス排出削減の状況

2020年度の温室効果ガス排出量
29,776t - CO₂ (2013年度比△39.8%)

具体的な取組み

- 工場内の空調増設に併せて屋根の断熱施工を実施し、冷暖房に係るエネルギー使用量を削減
- 設備配置の最適化により蒸気配管長を短くし、配管からの放熱ロスを削減
- ボイラー燃料をA重油からLPガスに転換し、ボイラーの使用に係るCO₂排出量を削減
- 空調機と警報システムを連動させ、異常検知時に自動で空調運転を停止するシステムを構築

優良事業者表彰

（事業者のくま工コ温暖化対策賞）

熊本県では「地球温暖化の防止に関する条例」において、温室効果ガス排出抑制に係る計画書制度を導入している。対象事業者の中から模範となる優れた取組を行っている事業者を表彰し、その取組みを周知することで、事業活動に伴うCO₂削減等を推進している。

熊本県
誘致連絡協議会会員の
受賞者一覧

第3回受賞者（令和元年度）

ミライアル株式会社 熊本事業所

[主な取り組み]

- 生産設備の省エネタイプ入替え
- 主要設備のインバーター化
- 照明のLED化
- 住吉第一工場のリニューアル ほか

第4回受賞者（令和2年度）

サントリービール株式会社
九州熊本工場

[主な取り組み]

- エネルギー使用状況を「見える化」
- 無駄なくエネルギーを利用するシステム作り ほか

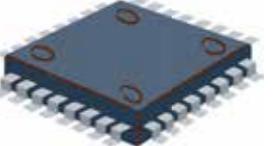
中央可鍛工業株式会社 熊本工場

[主な取り組み]

- 従業員全員が毎月、改善提案を提出
- 設備の稼働時間の短縮
- 省エネ活動の徹底 ほか

熊本の強みを生かした
「5つの安全保障」

熊本が有するポテンシャルを最大限に生かして、日本の「5つの安全保障」に貢献することで、地方創生を実現し、50年後、100年後の熊本のさらなる発展につなげる。

経済
の安全保障

熊本には多くの半導体関連企業が立地。さらに台湾の半導体製造大手TSMC社が日本で初めて菊陽町に進出することが決定している。この国家的プロジェクトを含め、更なる半導体産業の集積を進め、波及効果が県内全域に広がるよう取り組む。

県内の主な半導体関連企業



半導体産業集積強化推進本部を設置

知事をリーダーとし、県庁の部局を横断した組織である「半導体産業集積強化推進本部」を設置。情報共有や人材の育成・確保や渋滞対策などの課題解決に向けた取組みを、全庁で実行していく。

感染症
に対する安全保障

県も出資するKMバイオロジクス社が新型コロナウイルスの不活性ワクチン開発に取り組んでいる。熊本発のワクチンが完成すれば、全国へ安定的に供給し、感染症対策で大きな役割を果たすことができる。

不活性化ワクチン

提供:KMバイオロジクス

災害
に対する安全保障

熊本は南海トラフ地震発生時の現地対策本部など、九州全体の広域防災拠点の役割を担っている。新たな防災センターの整備や幹線道路の整備など、防災力の強化に取り組んでいく。

新たな防災センター



2023年度利用開始予定の合築庁舎（手前）のイメージ図
防災センターの防災拠点施設としての機能や耐震性等の確保・強化および熊本地震で被災した県央広域本部庁舎の復旧のため、県庁敷地内に県央広域本部・防災センター合築庁舎（仮称）を建設中

食料
の安全保障

農地集積や担い手支援の取り組みを強化し、農産物を安定的に生産するとともに、環境を守りながら食料供給県としての役割を担っていく。

農業経営のバトンタッチ

農業経営を安定的に継承し、多くの担い手を確保するため「くまもと農業経営継承支援センター」を設立。



くまもとグリーン農業

土づくりを基本とし、化学肥料や農薬を減らした環境にやさしい「くまもとグリーン農業」を推進。豊かできれいな地下水と自然環境を守る。

地球環境
の安全保障

2050年県内CO₂排出実質ゼロ（ゼロカーボン）に向けて、県民や事業者の皆様と連携した取組みを進めている。

ゼロカーボンへ
できることから一歩ずつ

今できること
例えば
電気は、
こまめに消して
照明はLEDに

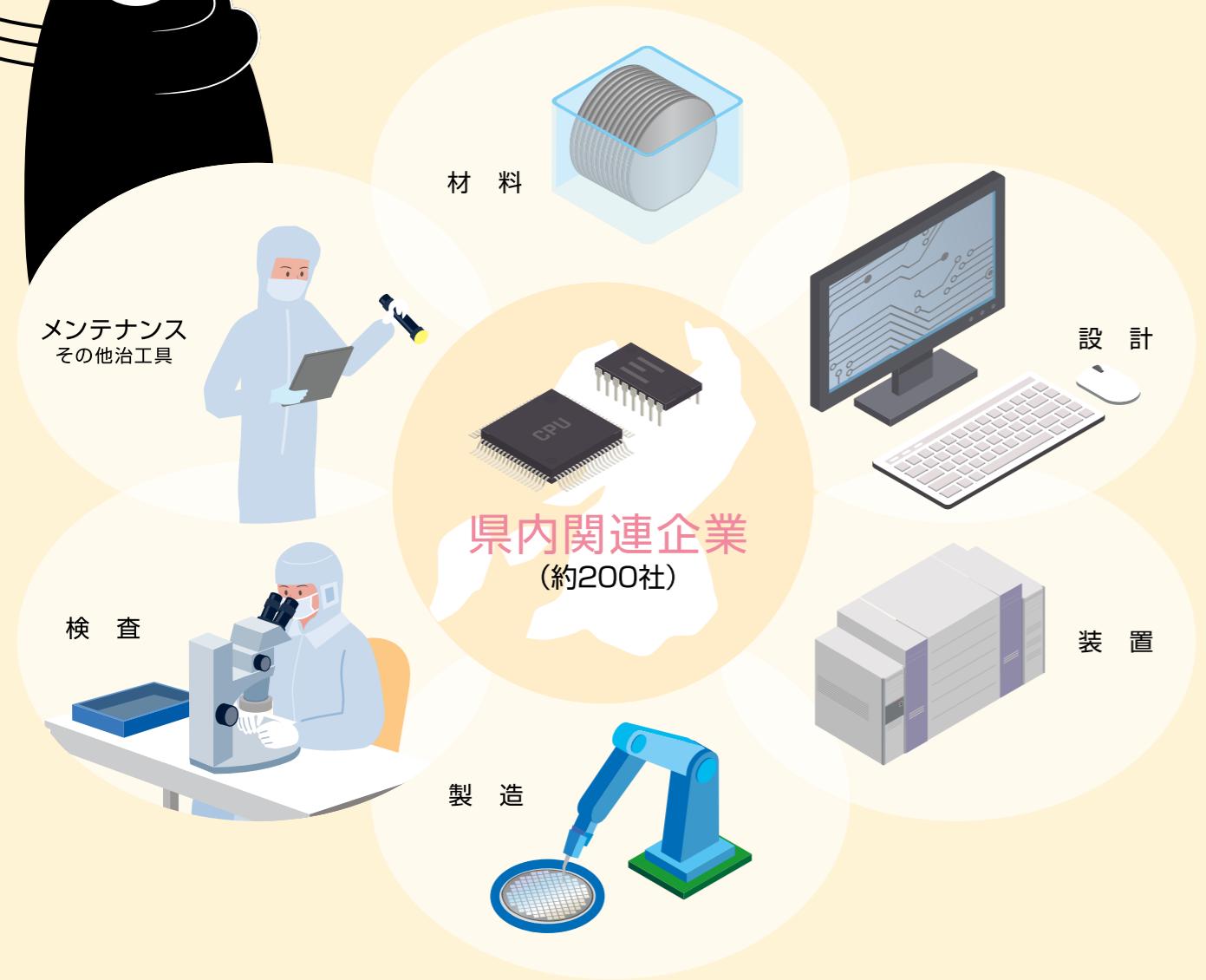
ゼロカーボンを日常に

例えば建物の改修時は、
省エネ化と
再エネ導入により
ZEB（ネット・ゼロ・
エネルギー・ビル）に





半導体関連企業が県内に勢揃い!



Pick up!

熊本県の半導体産業のさらなる集積に追い風

～世界の半導体受託生産市場で5割強のトップシェアを誇る
TSMCが熊本進出～

TSMCは、半導体の製造受託サービスを手掛ける子会社、JASM(ジャパン・アドバンスト・セミコンダクタ・マニュファクチャリング)を熊本県に設立する。

JASMは22年に半導体工場の建設を開始し、24年までに生産開始する計画。工場では22nmと28nmプロセス



及び12nmと16nmFinFETプロセス技術の半導体を生産し、生産能力は300mmウエハーで月間5万5000枚を見込む。また、約1700人の人材雇用を創出する予定。これをきっかけとして、熊本県も全労を挙げて、国家プロジェクトを成功に導き、県内半導体の集積を強化していく。

半導体不足を解消し、安定供給へ

Economic security | 経済の安全保障

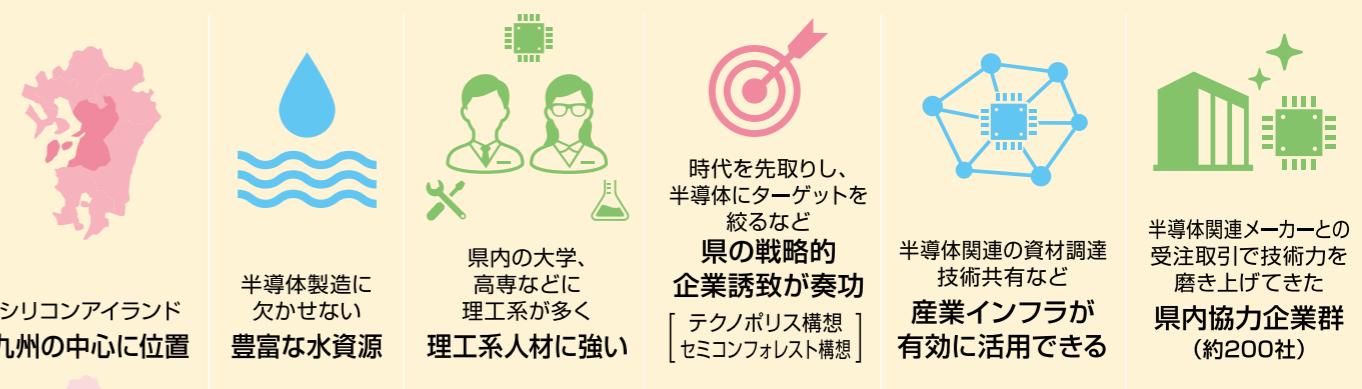
半導体企業の集積、世界の半導体ニーズに対応

熊本から日本の経済安全保障の一翼を担う

半導体は、「産業の脳」とも言われ、世界的に需要が拡大している。しかしながら国内メーカーの半導体での世界シェアは低迷。日本の経済基盤を支える半導体の国内供給力の確保が必須と言われている。熊本には、戦略的企業誘致で数多くの半導体関連企業が集積しており、県内に立地する半導体の基幹工場はそれぞれに特色があり、今後も成長が見込める生産拠点として高いポテンシャルがある。

集積が集積を呼ぶ

なぜ熊本に半導体産業が集積したのか？



シリコンアイランド

九州の中心に位置

1960年代 三菱電機熊本工場進出
九州日本電気開設

1980年代 東京エレクトロン、柿崎製作所(現ミライアル)、三井ハイテックなど進出、シリコンアイランド九州への始動
熊本テクノポリス構想指定。熊本県は県企業立地促進資金融資制度などを創設、
テクノ園域への先端企業の誘致を促進
テクノリサーチパーク建設。半導体やIT関連企業が進出
鳥子工業団地に堀場エステックなど進出

1990年代 熊本中核工業団地にテラダイン、東京エレクトロン九州、濱田重工などが進出、半導体産業集積の基礎形成
熊本県企業誘致連絡協議会設立、県産業開発課を県企業立地課へ拡充
セミコンテクノパーク建設、東京エレクトロン九州合志事業所開設

2000年代 「セミコン・フォレスト構想」=シリコンアイランド九州の集積状況と、その中央部に位置する
熊本の立地環境を世界にアピールする戦略的な企業誘致へ
南関東部工業団地に往原製作所進出
ソニーセミコンダクタ九州熊本TEC操業開始

～セミコンテクノパークを中心に半導体関連企業が進出～

2021年 TSMCが、菊陽町に進出決定

熊本の半導体

55年

の歴史

“くまモンランド化構想”始まるモン!

県全体がくまモンの魅力あふれる場所となることで、世界中からヒト・モノ・企業が熊本に集まり、くまモンの世界観を楽しむことができる「くまモンランド化構想」が始動。

*イラストはイメージです

illustration:
good design company
水野 学



くまモンランド化構想のイメージ

くまモンスクエアの機能強化



2013年に開業した「くまモンスクエア」(熊本市中央区)初の大規模リニューアル。愛嬌たっぷりのイメージに合わせた内装に衣替えし、誕生からの歩みを振り返る展示と映像コーナーを設けるなど、機能強化を図る。

くまモンに会える施設の充実



熊本の玄関口であるJR熊本駅(熊本市西区)、阿蘇くまもと空港(益城町)、八代港「くまモンポート八代」などくまモンに「会える場所」の拡充を計画している。

くまモンを活用した地域資源創出



県内各地で、くまモンと地域の宝とのコラボによる新たなくまモンの名所を生み出す取り組みを推進。「くまモン×球磨川くだり」や「くまモン×温泉」「くまモン×うたせ船」などを想定。熊本ゆかりのコラボ商品の開発も進め、ブランド認証制度の創設も計画している。

くまモンランドアプリケーション開発



県内をスマホアプリで表現するバーチャル化に力を入れる。アプリでくまモンと観光地を巡る設定のミニゲームをプレイできるなど、いつでも、どこでも、誰でもくまモンの世界観を楽しめる中身を検討している。

くまモン 大活躍中

熊本県の営業部長
兼しあわせ部長だモン

Career くまモンの歴史(抜粋)

- 2010年3月 熊本県でデビュー
- 2011年11月 「ゆるキャラグランプリ2011」で優勝
- 2012年12月 米紙「ウォール・ストリートジャーナル」の一面を飾る
- 2017年1月 「日本PR大賞」受賞
- 2017年3月 「フランス観光親善大使」に任命される。
- 2019年1月 NHK「プロフェショナル仕事の流儀」に出演
- 2022年3月 関連商品の累計売上高1兆円を突破

チエック! 毎日頑張ってるモン!

くまモン Twitter



くまモン隊 Instagram



くまモン TV



いろんな姿があるモン!

藍色くまモン (2021年7月～9月)

東京オリンピック・パラリンピック期間限定で登場して、みなぎるパワーで頑張っているみなさんを応援したモン



くまモン ONE PIECE ver
ワンピースのルフィ船長や三刀流のゾロの特別衣装で熊本復興プロジェクトを応援するモン

©2010 熊本県 くまモン

★ルフィ

県庁プロムナード



★ゾロ

大津町 大津中央公園



★ブルック

御船町 ふれあい広場



★ナミ

西原村 倭山交流館「萌の里」



★サンジ



★アスカ



NEW! ジンベエ

設置場所
募集中



★チョッパー

熊本市 動植物園



★サンジ

益城町 ミナテラス



人材確保もしっかりサポート

熊本県では誘致企業が優秀な人材を確保するための支援サービスが充実している。

誘致企業等と県内高等学校・専門学校等との 情報交換会

優秀な人材を確保したい誘致企業等と、企業の情報を知りたい学校の就職担当者との情報交換会を開催。個別面談や名刺交換などを行い、ネットワークづくりや活発な情報交換の機会を提供。



大都市圏等からの人材確保

熊本県UIJターン就職支援センター

熊本、東京、大阪、福岡にある相談窓口で、熊本へのUIJターン就職を希望する大都市圏等在住者と県内企業とのマッチングを無料でサポート。また、求職者が採用試験を受けるための交通費及び宿泊費を最大3万円助成。さらに、東京圏からUIJターン者を採用した場合、就職者に対して最大100万円が支給される。



相談窓口ではUIJターン就職支援アドバイザーがマッチングをサポート

“廃校を活用” 「芦北サテライトオフィス計石」



熊本県芦北町では、海に面した旧計石小学校をサテライトオフィスとして、廃校を活用した企業誘致を展開。東京のIT企業など6社がサテライトオフィスに入居および進出を決めた。都市部と地方の両オフィスを行き来したり、地方に移住するという選択肢もあり、場所に捉われない新しい働き方の拠点として期待されている。また、芦北高校とIT企業グループの連携を町が支援し、IT人材の裾野拡大や職業選択肢の増加にも取り組んでいる。なお、令和4年度には田浦支所庁舎内に新たにサテライトオフィス田浦も開設する。

県内の
特色ある誘致活動

pick up

町と企業が連携した 人材確保の取り組み



県北エリアにある熊本県大津町では、企業の事業活動を側面から支援する大津町企業連絡協議会を発足。本田技研工業(株)熊本製作所をはじめ、大津町の企業70社が入会している。協議会では毎年、同町内にある翔陽高校で就職を希望する3年生を対象に「企業説明会」を開催。会員企業各社が教室にブースを設置し、企業担当者が業務内容や企業理念、地元企業で働く意味などを生徒に説明を行う。会員企業に対し、生徒と直接対面できる貴重な機会を提供している。

くまもと 立地環境の ご案内

熊本県は幅広い業種に対応した

補助金や人材確保の支援制度などが充実。

さまざまな優遇措置で立地を強力にサポート。

企業立地に関する情報は

「企業立地ガイド熊本」をチェック！

企業立地ガイド熊本

検索



check!



補助率が最大2倍

■球磨川流域復興枠を創設

- 対象企業：製造業
(球磨川流域市町村等に事業所を新設、増設する企業)
- 対象期間：令和6年3月末まで

球磨川流域市町村等の創造的復興を強力に後押しするため、投資要件および雇用要件を優遇。さらに、一定の要件を満たせば補助率が最大**2倍**に！

ノンアセット型物流企業の 賃貸料等を支援！

- 対象企業：マルチテナント型物流施設等に入居する企業
※道路貨物運送業、貨物運送取扱業、港湾運送業、梱包業、卸業及び小売業
- 補助内容：設備投資(土地・建物は含まず)や雇用に対する支援に加え、事業所の年間賃借額(操業から1年間)の**1/2**を支援。

製造業・運輸業向け 熊本県企業立地促進補助金

- 対象：投資額3億円以上かつ雇用5人以上
(2~15%)
[研究開発業・メディカルサイエンス業]
5千万円以上かつ3人以上(5~10%)
[外資系企業]：基準なし(5%)
[大規模投資企業] 200億円以上かつ200人以上の新設企業(8~15%)
[物流施設] 1億円以上かつ5人以上(3%)
- 限度額：50億円

オフィス系向け 熊本県産業支援サービス業等立地促進補助金

- 対象：雇用5人以上(投資要件なし)
人口減少市町村以外に立地する場合は別途要件あり
- 限度額：[コールセンター等]5億円
[IT関連企業等]1.5億円
※本社機能移転についても同様の制度あり

荷主向け 国際コンテナ利用拡大助成事業

新規利用企業

- 対象
前年度に熊本県内港を利用したことがない荷主企業
(国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けいない)
- 助成金額
1TEU当たり2万円

継続利用企業

- 対象
前年度に熊本県内港を利用したことがある荷主企業
(国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けている)
- 助成金額
1TEU当たり1万5千円

スモールスタート 研究開発業 ～熊本県企業立地補助金～

- 対象
投資額1,000万円以上かつ雇用3人以上
新たに熊本県内に研究開発施設等を設置するもの
- 補助金額
①投資額×10%
②新規雇用者50万円/人
③事業所の年間賃借額×1/2(4年間)
- 限度額：1億円

熊本は休日を楽しめる
スポットが充実

泉質と風情を楽しめろ 温泉王国・熊本

熊本は源泉総数・湧出量ともに
全国5位の温泉王国。
温泉のほとんどが掛け流しで、温泉宿泊施設も多く、
ビジネス利用が多いのも特徴。
県内各地に温泉地域がある熊本では、
気軽に温泉めぐりを楽しめる。



1 泉質

熊本温泉の魅力

熊本の温泉は全10種類の泉質のうち8種類の泉質があり、泉質の違いで様々な効能を体験できる。同じ温泉地域でも異なる源泉・泉質の温泉が出る地域もあり、外湯を巡る「湯巡り」で豊富な泉質を堪能できる。

2 「家族湯」が多い

温泉1部屋を貸し切りで利用できる「家族湯」が多い点も熊本の温泉の特徴。男湯や女湯に入る温泉施設と異なり、家族連れなど親しい人だけで気軽にゆっくり入浴できると人気。

3 趣向を凝らした温泉施設

情緒あふれるレトロな公衆浴場から絶景を一望できる露天風呂まで様々なタイプの温泉施設が充実。中には、無人改札ゲート式の浴場(120円)やコインタイマー式の家族湯(600円~)など便利でリーズナブルな立ち寄り湯も登場している。

自然豊かで観光スポットも多数

熊本は自然の魅力あふれる観光スポットが多数あり、週末のレジャーも充実。



復興中の熊本城



Wonderful



四季折々の景観を
楽しめる阿蘇



天草の海で
カヤックとSUP体験



Enjoy!

ゴルフ場が充実



近い

安い

広い

眺め
良し

熊本は、ジュニアゴルファーの育成が盛んで日本を代表するプロゴルファーが数多く誕生している。阿蘇の雄大な自然を満喫できるリゾートコースや、比較的温暖なシーサイドコースなど、県内に40以上のゴルフ場があり、年間を通してプレーが可能。市街地から近いゴルフ場も多く、プレー料金が安い点も魅力で、国内外のビジネスや観光客に利用されている。

**リーズナブルな
ゴルフ料金**

| | |
|-----|----------------|
| 平 日 | 3,500円~13,900円 |
| 土日祝 | 5,500円~17,400円 |



豊富な水資源

熊本は阿蘇の清らかな伏流水に恵まれ、県内各地に1,000カ所以上の湧水がある「水の国」。良質で豊富な地下水が、飲料水や生活用水のほか、様々な産業活動を支え、半導体関係や食品・飲料メーカーなど幅広い業種の企業が数多く立地している。

名水池は 全国最多の合計8カ所

平成の名水百選 4カ所

昭和の名水百選 4カ所

名水百選選抜総選挙では
「観光」「景観」「秘境」3部門で
3位と4位

水道水源としての 地下水の割合

熊本地域 ほぼ 100%

熊本市を中心とした11市町村区域

熊本県全域 約 80%

全国平均 約 20%

熊本は全国でもまれな地域



水を守る 育む

熊本県では行政、企業、住民が参加して地下水保全に取り組んでいる。特に協働推進組織「公益財団法人くまもと地下水財団」では、熊本地域(熊本市とその近郊10市町村)一体となった様々な取り組みを進めている。



2013年3月、国連から「最良の水管理の取り組み」として熊本市が日本で初めて受賞。地下水保全に向けた熊本地域の広域的な協働の取り組みは国際的にも高く評価されている。

第4回アジア太平洋水サミット

熊本市で開催
2022年4月23・24日

アジア太平洋地域の首脳級や国際機関の代表が参加して水に関する諸問題について議論する国際会議。このサミットの成果は「熊本宣言」として国連水会議で世界に発信される。



地下水涵養

稻作時期以外の水田・休耕田や
白川中流域の転作田での水張り

涵養林の整備・管理



地下水保全に
取り組む企業
の顕彰制度

ウォーターオフセット

涵養域で栽培された農作物や加工品
を購入・消費し、農地と地下水の
保全に貢献する取り組み

地域における水環境教育

事業紹介

令和4年1月19日(水)～21日(金)
ネプコン ジャパンに出展しました。

東京ビッグサイト(東京都)

初めての試みとして、令和4年1月19日(水)～21日(金)の3日に渡り、東京ビッグサイトで開催された「ネプコン ジャパン～エレクトロニクス開発・実装展」に出展しました。この展示会は、アジア最大級のエレクトロニクス開発・実装展で、エレクトロニクス機器の多機能化・高性能化を支える世界最先端の電子部品・材料や製造・実装・検査装置が展出。国内外のエレクトロニクス、半導体・センサ、電子部品、自動車・電気品メーカーが展出するため、本協議会及び県内立地環境PR等の誘致活動を実施しました。



令和3年12月15日(水)～17日(金)
SEMICON JAPAN2021に出展しました。

東京ビッグサイト(東京都)

令和3年12月15日(水)～17日(金)の3日に渡り、東京ビッグサイトで開催された「SEMICON JAPAN 2021」に出展しました。昨年度は、オンラインで開催されたため、出展しておらず、今回、2年ぶりの出展となりました。この展示会は、半導体製造装置、材料等に関する世界最大級の展示会であり、大手半導体関連企業も出展するため、本協議会及び県内立地環境PR等の誘致活動を実施しました。昨年11月に、TSMCが県内に新工場を建設すると発表したこともあり、期間中、例年を上回る多数の方にブースにご訪問いただきました。



令和3年6月
通常総会

令和3年6月1日㈫に開催を予定していました「令和3年度通常総会」については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止としました。

なお、通常総会でお諮りすることとしていた令和2年度事業・収支決算報告や令和3年度事業計画・予算案等の議案については、6月中旬に書面審議により承認されました。

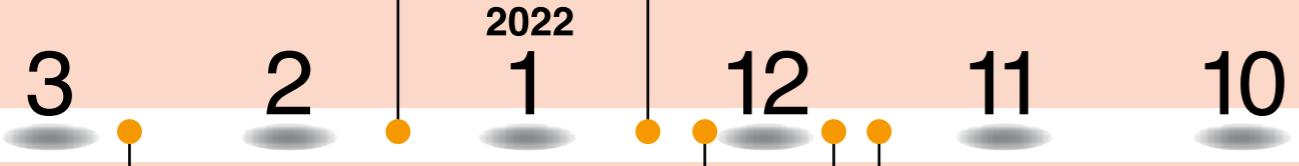


令和3年5月
誘致企業等と県内高等学校・専門学校等との情報交換会冊子の作成

今年度の情報交換会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とし、企業情報をまとめた冊子のみ作成して県内高校等に配布しました。



一昨年度実施時の様子。企業の人事担当者と学校の就職担当者による個別面談、名刺交換を実施



令和4年2月28日(月)
オンライン特別セミナー

コロナ禍においても会員様へ有益な情報を提供する機会として、講師3名をお招きして完全オンライン配信による特別セミナーを開催しました。

- (株)三菱総合研究所 海外事業本部
アジア事業グループ
グループリーダー 主席研究員 河村 恵子 氏
- TSMCジャパン(株)
代表取締役社長 小野寺 誠 氏
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
代表取締役社長 堀田 祐一 氏

令和4年3月
会員交流
ボウリング大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

保護者向け就活セミナー & 誘致企業
オンライン見学会

令和3年11月28日(日) グランメッセ熊本 大会議室(上益城郡益城町)
令和3年12月 4日(土) 熊本城ホール3F 会議室A3(熊本市)

令和3年11月28日(日)にグランメッセ熊本にて、令和3年12月4日(土)に熊本城ホールにて、「保護者向け就活セミナー & 誘致企業オンライン見学会」を開催しました。全国的に人手不足が深刻化する中、学生やその保護者の方に会員企業の魅力を知つもらうことを目的として開催しました。会社訪問では、会社の雰囲気を感じながら、具体的な業務内容や入社後の育成制度をはじめ、会社の魅力をわかりやすく伝えていただきました。11月28日、12月4日合わせての来場者数は61名、オンライン参加者数は120名とたくさんの皆様にご参加いただきました。



[保護者向け就活セミナー]

- 「子どもにとって一番身近な“社会人先輩”になろう」
(株)パーソナル・マネジメント 代表取締役 横永 健夫 氏

[誘致企業オンライン見学会]

- <11月28日(日)グランメッセ熊本>
- 濱田重工(株)シリコンウエハー事業部熊本工場
 - エコポート九州
 - ソニーセミコンダクタマニファクチャリング(株)
 - 株構造計画研究所
- <12月4日(土)熊本城ホール>
- 株テラプローブ
 - アクセンチュア(株)
 - ジャスペック(株)
 - 株ニフコ熊本



Epochal
vol.36発行

令和3年11月15日(月)
熊本県自動車関連企業
立地セミナー2021

名鉄ニューグランドホテル(愛知県名古屋市)

令和3年11月15日(月)、名古屋市において、熊本県と共に開催で、熊本県自動車関連企業立地セミナーを開催しました。このセミナーは、国内自動車産業の一大集積地である東海地方の企業の方々を対象としたもので、約100名の多くの皆様にご参加いただきました。講演後は、講師を囲んで名刺交換会が行われ、多くの企業の方々が情報交換されました。



- 「会社を取り巻く環境変化に対応した取り組み」
トヨタ自動車九州(株) 取締役副社長 橋本 克司 氏
- 「エイティー九州13年の歩みと今後の成長戦略」
エイティー九州(株) 取締役社長 石原 邦生 氏
- 「自動車用半導体センシングデバイスの開発状況」
ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)
車載事業部長 春田 勉 氏
- 「熊本県の魅力～創造的復興のいま～」
熊本県知事 蒲島 郁夫

令和3年7月16日(金)
熊本県市町村
企業誘致担当者研修会

グランメッセ熊本 中会議室

令和3年7月16日(金)、熊本県と共に開催で、「令和3年度熊本県市町村企業誘致担当者研修会」を開催しました。

この研修会は、企業誘致行政に携わる市町村職員が必要とする知識や企業の現状について理解を深めるとともに、県及び市町村相互の情報交換や親睦を図ることで県全体の企業誘致活動を推進することを目的として開催しているものです。今年度は、感染拡大防止対策としてZoomを活用したオンライン配信も併用しての開催でしたが、来場者数33名、リモート参加数20名、合計で39市町村にご参加いただきました。

